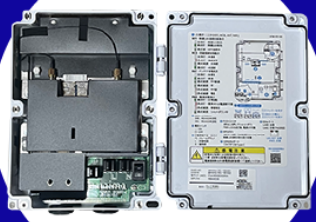
amnimo

amnimo C シリーズ
リリースノート

AC10

AC15

AC25



IM AMD06A91-01JA 第 31 版

対応機種の見かた

本書は、複数の機種に対応しています。以下に、対応機種のアイコンを示します。

CR	amnimo C シリーズ　屋内タイプコンパクトルーター AC10
CR	amnimo C シリーズ　屋内タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC15
CR	amnimo C シリーズ　屋外タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC25

対応周波数バンド

無線 LAN 搭載コンパクトルーターは、対応周波数バンドの違いで 2 種類の型番が存在します。
本ドキュメントでは、それぞれ 011JP タイプ、061JP タイプと記載します。

型番		011JP タイプ (AC10-011JP, AC15-011JP, AC25-011JP)	061JP タイプ (AC15-061JP, AC25-061JP)
回線	LTE（FDD）	B1, B3, B18, B19, B21	B1, B3, B18, B19, B26
	LTE（TDD）	–	B39(sXGP), B41(AXGP)
	W-CDMA	B1, B6, B8, B19	B1, B6, B8, B19

コンパクトルーターのファームウェアの種類

コンパクトルーターには 2 種類のファームウェアが存在します。アップデートの際はご注意ください。

種類	最新版 参照先 URL※2
アプリケーション部※1	● 屋内タイプコンパクトルーター https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10.amf ● 屋内タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーター https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15.amf ● 屋外タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーター https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac25.amf
ハードウェア制御部※1	● 屋内タイプコンパクトルーター https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-modem.amf ● 屋内タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーター ・011JP タイプ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15-011jp-modem.amf ・061JP タイプ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15-061jp-modem.amf ● 屋外タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーター ・011JP タイプ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac25-011jp-modem.amf ・061JP タイプ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac25-061jp-modem.amf

※1 各ファームウェアのバージョンの確認方法は、『エッジゲートウェイシリーズ CLI ユーザーズマニュアル』の『2.4.1 ファームウェアのバージョンを表示する』および『5.1 モバイルモジュールを表示する』を参照ください。

※2 ファームウェアにアクセスする場合はアカウントとパスワードが必要になります。弊社サポートに別途ご連絡ください。

セキュリティ要件適合評価及びラベリング制度（JC-STAR）の適合ラベル

本製品のバージョン 3.1.1 以降のファームウェアは、独立行政法人 情報処理推進機構 IPA が制度・運営する IoT 製品向け「セキュリティ要件適合評価及びラベリング制度」（JC-STAR）の適合ラベル★1を取得しています。

受理番号	0000000000000047
適合ラベル登録番号	2025100100001000
適合ラベルの有効期間	2027 年 10 月 28 日

第1章　リリースノート

以下に、初回のリリース以降の新機能と変更点に関する情報を示します。

- 制限事項と既知問題については、「2.1 制限事項と既知問題について」をご参照ください。
- アムニモデバイスは設定ファイルで挙動を管理しています。ファームウェアをバージョンアップすると、新しい設定項目の追加や既存項目の有効範囲変更が行われる場合があります。その状態で旧バージョンへ戻すと、旧ファームウェアが新形式の設定を正しく解釈できず NG 処理となり、初期化状態で起動することがあります。これは仕様上の動作となります。

➔ 詳細は「アムニモデバイスのバージョンダウン時の注意と復旧手順」をご確認ください。

1.1　最新バージョン

バージョン 3.5.0 (2026/1/15)

サードパーティーアプリケーション/OSS バージョン、機能追加、機能改善、仕様変更を実施しました。※JC-STAR 適合ラベル★1 取得バージョン

対象ファームウェア（バージョン）

- アプリケーション部 (3.5.0)

バージョン 2.5.0 より新しいバージョンのアプリケーション部のファームウェアについては無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC15/AC25 の 011JP タイプと 061JP タイプを 1 つのファームウェアに統合しました。本影響により、無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC15/AC25 のファームウェアはバージョン 1.13.0 以前のファームウェアから本バージョン以降に**直接ファームウェア更新をすることができず、エラーになります**。本バージョンへファームウェア更新を行う場合は一旦、バージョン 2.3.0 にアップデートしてください。

- ハードウェア制御部 AC10 (1.0B10)

対象機器

- amnimo C シリーズ　屋内タイプコンパクトルーター AC10
- amnimo C シリーズ　屋内タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC15
- amnimo C シリーズ　屋外タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC25

サードパーティーアプリケーション/OSS バージョンアップ

- remote.it のバージョンを 4.14.6 から 5.4.2 にバージョンアップを行いました。
- SSL に関連する機能、ネットワーク機能、Web アクセス機能に関連する OSS のバージョンアップを行いました。

機能追加・改善

- GUI 機能にネットワーク診断機能を追加しました。
- GUI 機能にダッシュボード画面に稼働時間を追加しました。
- GUI 機能にダッシュボード画面に PoE の利用状況を追加しました。
- GUI 機能においても、デバイス管理システムのフェイルセーフ機能を設定できるようにしました。
- GUI 機能のダッシュボード画面に表示処理の最適化を行いました。
- GUI 機能に IPsec 接続・切断機能のインターフェイスを追加しました。
- GUI 機能に更新時間間隔の保存機能を追加しました。
- GUI 機能のインターフェイス画面にゲートウェイのメトリック値を設定できるようにしました。
- GUI 機能の設定画面にスクロールバーを追加しました。
- デバイス管理システムのエージェントの監視機能を強化しました。

仕様変更（アプリケーション部）

- GPS 機能が利用している 56830 ポートを、外部からアクセスできないように変更しました。
- /etc/passwd に登録されているユーザー名はアカウントユーザーに登録できないように仕様を変更しました。また/etc/group に登録されているグループ名はアカウントグループに登録できないように仕様を変更しました。
- 通信モジュール異常時に「huh? It's our lock file!」が記録しないように変更しました。
- GUI 機能の接続ポートの初期値を 80(http)から 443(https)に変更しました。
- フィルター機能の hashlimit 設定の上限値を拡張しました。

不具合修正（アプリケーション部）

- インターフェイス機能において、dhcp mtu 有効時の mtu の値が設定されない不具合を修正しました。（No.78）
- インターフェイス設定で dns のプライオリティに 8 もしくは 9 を選択すると正しく動作しない。不具合を修正しました。（No.97）
- スケジュール機能で複数登録した ping の宛先のうち、最初の宛先 に送信されない不具合を修正しました。（No.99）
- クラウドビデオレコーダー機能が有効でかつカメラ設定もされている場合に、機器起動時からインターネットに繋がらない状態にログが大量に出力される。その影響で CPU 使用率が 100%になる不具合を修正しました。（No.106）
- LTE 経由の IPsec 接続環境で DHCP リレーを利用する場合、DHCP リレーのパケットが対向側の IPsec へ送信されない不具合を修正しました。(No.107)
- LTE 経由の IPsec 接続において、自拠点側の LAN 側サブネットアドレスが対向拠点側の LAN 側サブネットアドレスの中に含まれる構成時に、IPsec のパススルー設定を行っていない状況でも自身の LAN 側 IP アドレス向けの通信が IPsec 対向側と行える不具合を修正しました。(No.108)
- アカウント機能において、ログイン中のアカウントをユーザーまたは所属しているグループを削除すると失敗するが、元の設定復旧処理が失敗する不具合を修正しました。（No.111）
- アカウント機能において、アカウントのパスワード変更、グループ変更およびパスワード有効期限に失敗した場合、変更エラーとなるが、設定項目から抜けるとセグメンテーションフォルトが発生する問題を修正しました。（No.112）
- アカウント機能において、設定初期化時にアカウントユーザー、アカウントグループの削除に失敗した場合にエラーメッセージが出力されず設定も復旧しない不具合を修正しました。（No.113）
- PoE 機能において、PoE コントローラから変化イベントを受け続けると異常監視機能より機器が再起動する不具合を修正しました。（No.114）
- DHCP サーバ機能において、dns/ntp に auto 指定があるとき、インターフェイス機能で本来は削除できない関連するインターフェイス設定を削除できる不具合を修正しました。（No.115）
- GUI 機能のトラフィック表示機能で、eth0 がない機器で eth0 が選択できる不具合を修正しました。（No.116）
- 設定初期化時に設定ファイルの dhcp ノードに subnet が出力される不具合を修正しました。（No.117）
- プロキシサーバーの表示権限を”show:config:proxy”のみに設定した場合、GUI 機能においてプロキシポートのみの画面が表示されない不具合を修正しました。（No.118）
- クラウドビデオレコーダー機能において、PTZ 操作のサポート情報が正しく更新されない問題を修正しました不具合を修正しました。（No.119）
- クラウドビデオレコーダー機能において、クラウド録画が一部のケースで開始されない不具合を修正しました。（No.120）
- クラウドビデオレコーダー機能において、一部のカメラで ONVIF レスポンスエラーが発生する不具合を修正しました。（No.121）
- GUI 機能の IPsec 機能において、パススルー設定時､接続状態が正しく表示されず｢切断中｣と表示される不具合を修正しました。(No.122)

更新用ファームウェア URL

機種	参照先 URL
CR	・アプリケーション部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-3.5.0-b74474.amf ・ハードウェア制御部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-modem-ME3630ACV1.0B10-b69942.amf
CR CR	・アプリケーション部※ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15_ac25-3.5.0-b74469.amf ・ハードウェア制御部※ ・011JP タイプ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15_ac25-modem-ME3630AC15V1.0B10-b70449.amf ・061JP タイプ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15_ac25-modem-ME3630AC15V2.0B04-b70449.amf

※AC15 と AC25 のファームウェアは共通です。

1.2　過去のリリース済みのバージョン

バージョン 3.3.0 (2025/10/2)

OSS バージョン、機能追加、機能改善、仕様変更を実施しました。
※JC-STAR 適合ラベル★１取得バージョン

対象ファームウェア（バージョン）

- アプリケーション部 (3.3.0)

> バージョン 2.5.0 より新しいバージョンのアプリケーション部のファームウェアについては無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC15/AC25 の 011JP タイプと 061JP タイプを１つのファームウェアに統合しました。本影響により、無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC15/AC25 のファームウェアはバージョン 1.13.0 以前のファームウェアから本バージョン以降に**直接ファームウェア更新をすることができず、エラーになります**。本バージョンへファームウェア更新を行う場合は一旦、バージョン 2.3.0 にアップデートしてください。

- ハードウェア制御部 AC10 (1.0B10)

対象機器

- amnimo C シリーズ　屋内タイプコンパクトルーター AC10
- amnimo C シリーズ　屋内タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC15
- amnimo C シリーズ　屋外タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC25

OSS バージョンアップ

- SSL に関連する機能、ネットワーク機能、Web アクセス機能に関連する OSS のバージョンアップを行いました。

機能追加

- GUI 機能において、ダッシュボード画面を追加しました。簡易設定画面の改善、カテゴリ項目の見直しを行いました。
- クラウドビデオレコーダー機能において、PTZ 対応カメラの制御機能を追加しました。
- スケジュール機能のキープアライブ設定において、ルーティングを切り替える機能を追加しました。
- スケジュール機能のキープアライブ設定において、モバイルと PPP の再接続・切断機能を追加しました。
- GUI 機能においても、DHCP サーバー機能のデフォルトリース期間（クライアント機器からのリース期間要求がない場合のリース期間）を設定できるようにしました。
- 統合デバイス管理機能において、フェイルセーフ機能を追加しました。

仕様変更（アプリケーション部）

- 静的ルーティングの設定方法で、ゲートウェイアドレスとインターフェイスを同時に設定できるように変更しました。
- IPsec の local id または remote id 設定において、使用可能な文字列の仕様を変更しました。

設定	仕様
fqdn	● 最大文字数は 253 文字で、RFC1035 で規定されている<subdomain>が使用可能です。 ● <label>の先頭文字として数字を許容し、トップレベルドメインに使用可能な文字種は<letter>のみとします。
userfqdn	● 最大文字数は 254 文字、<local-part>は最大 64 文字で、使用可能な文字種は RFC5322 で規定されている<local-part>が使用可能です。 ● 改行を表現する文字列 "¥r" (0x5C 0x72) および "¥n" (0x5C 0x6E)と、空白 (0x20) および タブ文字(0x09) は使用できません。<domain>に使用可能な文字列は fqdn と同様です。

- タイムゾーンの選択可能なオプションを以下に限定しました。

仕様
● Asia/Tokyo ● UTC ● GMT/GMT-14～GMT+12, GMT(GMT0,GMT-0,GMT+0 は設定不可)

- CLI 機能の ping 機能において、送信先指定で以下のような不正な宛先は設定できないようにしました。

```
example-.com              ← ハイフンで終わる
example..com              ← 連続したドット
exa_mple.com              ← アンダースコア含む
example!.com              ← 記号 `!` 含む
.example.com              ← ドットで始まる
example.com.              ← ドットで終わる
a..b.example.com          ← ラベル間のドット重複
example..co.uk            ← 連続ドット
example.com:80a           ← ポート番号に文字
-subdomain.example.com    ← サブドメインにハイフン開始
example.abcdefghijklmnopqrstuvwxyzabcdefghijklmnopqrstuvwxyzabcdefghijkl ← ラベル長 63 超
example..                 ← 連続ドット & 不完全
.                         ← 空のホスト
a.b.c.d.e.f.g...z         ← 複数連続ドット含む長いラベル列
-1.1.1.1                  ← サブドメインにハイフン開始
-localhost                ← ハイフン開始の単一ラベル
localhost-                ← ハイフンで終わる単一ラベル
```

- 設定保存機能において、設定ファイルに機種情報を追加し、異なる機種への誤った設定保存を防止するエラーチェック機能を実装しました。
- 無線 LAN 搭載コンパクトルーターでは、プロキシサーバー機能を無効化しました。

プロキシサーバー機能を利用したい場合は、バージョン 3.1.1 以前のソフトウェアに戻すか、弊社営業にご相談ください。

- GUI 機能において、アカウント設定におけるグループ追加機能を削除しました。

本バージョン以降でグループを追加する場合は、CLI 機能を利用してください。

- GUI 機能において、クラウドビデオレコーダー機能のカメラ設定の設定項目のポート、IP アドレス、モデル、メーカーを削除しました。

不具合修正（アプリケーション部）

- 無線 LAN 機能において TKIP を利用した以下の暗号通信方式が利用できない不具合を修正しました。（No.94）
  - wpa-psk-tkip
  - wpa-psk-mixed
  - wpa2-psk-tkip
  - wpa2-psk-mixed
  - wpa-wpa2-mixed-psk-tkip
  - wpa-wpa2-mixed-psk-mixed
  - wpa2-psk-wpa3-sae-mixed-mixed

TKIP は現在ではセキュリティが低い暗号方式とされており、実運用での利用は非推奨です。

- インターフェイス機能において、ブリッジのリンク状態がブリッジに追加されたインターフェイスのリンク状態に連動しない不具合を修正しました。（No.101）
- CLI 機能において ping および traceroute において <DEST_IP_ADDR> の先頭文字に '-' を指定できる不具合を修正しました。（No.102）
- モバイル回線接続処理に失敗するケースで IP アドレス取得異常、モバイルインターフェイス異常が含まれていないため、フェイルセーフ処理が実行されない不具合を修正しました。（No.103）
- DHCP サーバーから配布される NTP サーバーリストが更新できていない場合がある不具合を修正しました。（No.104）
- GUI 機能において、クラウドビデオレコーダー機能を有効化時に設定ファイルが存在しない場合、GUI 上にエラーが表示されない不具合を修正しました。（No.109）

更新用ファームウェア URL

機種	参照先 URL
CR	・アプリケーション部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-3.3.0-b73015.amf ・ハードウェア制御部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-modem-ME3630ACV1.0B10-b69942.amf
CR CR	・アプリケーション部※ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15_ac25-3.3.0-b73014.amf ・ハードウェア制御部※ ・011JP タイプ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15_ac25-modem-ME3630AC15V1.0B10-b70449.amf ・061JP タイプ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15_ac25-modem-ME3630AC15V2.0B04-b70449.amf

※AC15 と AC25 のファームウェアは共通です。

バージョン 3.1.1 (2025/5/12,26)

OSS バージョン、機能追加、機能改善、仕様変更を実施しました。
※JC-STAR 適合ラベル★1 取得バージョン

対象ファームウェア（バージョン）

- アプリケーション部 (3.1.1)

> バージョン 2.5.0 より新しいバージョンのアプリケーション部のファームウェアについては無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC15/AC25 の 011JP タイプと 061JP タイプを 1 つのファームウェアに統合しました。本影響により、無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC15/AC25 のファームウェアはバージョン 1.13.0 以前のファームウェアから本バージョン以降に**直接ファームウェア更新をすることができず、エラーになります**。本バージョンへファームウェア更新を行う場合は一旦、バージョン 2.3.0 にアップデートしてください。

- ハードウェア制御部 AC10 (1.0B10)

対象機器

- amnimo C シリーズ　屋内タイプコンパクトルーター AC10
- amnimo C シリーズ　屋内タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC15
- amnimo C シリーズ　屋外タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC25

OSS バージョンアップ

- SSL に関連する機能、syslog 機能、無線 LAN 機能、プロキシサーバー機能、Web アクセス機能に関連する OSS のバージョンアップを行いました。

機能追加

- スケジュール機能において、キープアライブ設定のアクションとしてモバイルの接続処理・切断処理を設定できるようにしました。
- スケジュール機能において、キープアライブ設定のアクションとして IPsec 再接続処理を設定できるようにしました。
- スケジュール機能において、キープアライブ設定のアクションとしてデバイス統合管理システム DMS への通知処理を設定できるようにしました。
- IPsec 機能において、プライオリティ機能を追加しました。
- IPsec 機能において、切断時の動作を設定する機能を追加しました。
- ファームウェア更新機能に工場初期化オプションを追加しました。(JC-STAR★1 適合基準番号 S1.1-16 への対応)
- クラウドビデオレコーダー機能において、GUI 上でカメラ設定機能を追加しました。
- DHCP サーバー機能でデフォルトリース期間（クライアント機器からのリース期間要求がない場合のリース期間）を設定できるようにしました。

機能改善

- GUI 機能のモバイル通信設定機能において、接続方法を設定できるように変更しました。
- GUI 機能の認証処理において、同一ユーザーが 5 回連続で認証に失敗した場合、5 分間ロックを行う処理を追加しました。(JC-STAR★1 適合基準番号 S1.1-04 への対応)

仕様変更（アプリケーション部）

- 起動処理の設計を一部変更しました。本変更により SSH のログイン可能になるタイミングがアムニモアプリケーションの管理するすべてのアプリの起動後になりました。また起動中の異常時発生において、起動面が確定するタイミングが変わりました。
- PPP 機能において、他の PPP インターフェイスで設定済みのピア名は設定できないように変更しました。
- traceroute の DEST_IP_ADDR(送信先アドレス) は IP アドレスまたは FQDN を指定可能, SRC_IP_ADDR(送信元アドレス) は送信元 IP アドレスのみ指定可能に変更しました。
- 無線 LAN アクセスポイント機能において、「no channel short-guard-interval」を設定しても無効にできない不具合は、「no channel short-guard-interval」を実行できないように変更しました。設定ファイル上に「no channel short-guard-interval」が記述されていても実行されません。

仕様変更（ハードウェア制御部）

- 通信モジュールへの制御コマンドのタイムアウト値を変更しました。
- 基地局情報の取得内容を変更しました。

不具合修正（アプリケーション部）

- コンパクトルーターでイーサネットを接続せずに起動すると、eth0 のリンクランプ緑が点灯（点滅）状態になる不具合を修正しました。（No.84）
- ファームウェアアップデートで、NAND フラッシュのバッドブロックが発生した場合、ベリファイエラーでファームアップが失敗する不具合を修正しました。（No.85）
- 複数 SIM 使用時に SIM を切り替えて通信ができない場合がある不具合を修正しました。（No.86）
- 瞬電後に PoE が復旧しないことがある不具合を修正しました。(No.87)
- show config 実行時に、モバイル情報を取得できない場合、エラー内容を含めて表示する不具合を修正しました。（No.88）
- モバイル通信制御の再接続処理時に IP アドレスが取得できなかった場合に異常処理がされていない不具合を修正しました。（No.89）
- フェイルセーフ機能において、リブート実施後 10 秒以内はリトライカウントアップが実施可能な状態が存在し、正確なリトライ制御ができない不具合を修正しました。（No.90）
- DHCP サーバーから相手機器の DHCP クライアントに配布された設定値どおりに設定・変更されない不具合を修正しました。（No.91）
- GUI 機能において、URL 指定でファイルダウンロード開始直後（進捗率 0%）にキャンセルボタンを押すと通信エラーが発生する不具合を修正しました。（No.92）
- スケジュール機能のキープアライブ設定の ping の宛先やネットワーク状態確認コマンドの traceroute および ping でドメイン名として指定できないパターンがある不具合を修正しました。（No.93）
- IPsec 機能において IKE を共有している複数の SA の接続が存在する状況で、一方の SA に対して CLI コマンドやスケジュールからの切断動作を行った場合、他の SA も切断してしまう不具合を修正しました。（No.96）
- 起動時に NAND フラッシュの ECC エラーを検知した場合、ECC エラーの復旧処理が行われず処理が停止し、再起動を繰り返す場合がある不具合を修正しました。（No.110）

更新用ファームウェア URL

機種	参照先 URL
CR	・アプリケーション部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-3.1.1-b70601.amf ・ハードウェア制御部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-modem-ME3630ACV1.0B10-b69942.amf
CR CR	・アプリケーション部※ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15_ac25-3.1.1-b70605.amf ・ハードウェア制御部※ ・011JP タイプ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15_ac25-modem-ME3630AC15V1.0B10-b70449.amf ・061JP タイプ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15_ac25-modem-ME3630AC15V2.0B04-b70449.amf

※AC15 と AC25 のファームウェアは共通です。

バージョン 2.7.0 (2024/11/25)

機能追加、機能改善、仕様変更を実施しました。

対象ファームウェア（バージョン）

- アプリケーション部 (2.7.0)※

バージョン 2.5.0 より新しいバージョンのアプリケーション部のファームウェアについては無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC15/AC25 の 011JP タイプと 061JP タイプを 1 つのファームウェアに統合しました。
本影響により、無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC15/AC25 のファームウェアはバージョン 1.13.0 以前のファームウェアから本バージョン以降に**直接ファームウェア更新をすることができず、エラーになります**。本バージョンへファームウェア更新を行う場合は一旦、バージョン 2.3.0 にアップデートしてください。

対象機器

- amnimo C シリーズ　屋内タイプコンパクトルーター AC10
- amnimo C シリーズ　屋内タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC15
- amnimo C シリーズ　屋外タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC25

機能追加

- CLI 機能において、デバイス統合管理システムとの通信間隔とログレベルを変更する機能を追加しました。

機能改善

- クラウドビデオレコーダーCVR 機能についてクラウド側のアップデートに合わせてエージェント機能をアップデートしました。
- 通信モジュールが SIM を認識しない場合にモジュール部分のリセット処理をリカバリー処理として追加しました。

仕様変更

- CLI 機能において、コマンド履歴の件数を 8 件から 50 件に変更しました

更新用ファームウェア URL

機種	参照先 URL
CR	・アプリケーション部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-2.7.0-b66414.amf ・ハードウェア制御部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-modem-ME3630ACV1.0B09-b62310.amf
CR CR	・アプリケーション部※ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15-2.7.0-b66408.amf ・ハードウェア制御部※ ・011JP タイプ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15-modem-ME3630AC15V1.0B09-b62306.amf ・061JP タイプ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15-modem-ME3630AC15V2.0B03-b62306.amf

※AC15 と AC25 のファームウェアは共通です。

バージョン 2.6.2 (2024/10/8)

機能追加、機能改善、仕様変更、不具合修正を実施しました。

対象ファームウェア（バージョン）

- アプリケーション部 (2.6.2)※

> バージョン 2.5.0 より新しいバージョンのアプリケーション部のファームウェアについては無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC15/AC25 の 011JP タイプと 061JP タイプを 1 つのファームウェアに統合しました。
> 本影響により、無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC15/AC25 のファームウェアはバージョン 1.13.0 以前のファームウェアから本バージョン以降に**直接ファームウェア更新をすることができず、エラーになります**。本バージョンへファームウェア更新を行う場合は一旦、バージョン 2.3.0 にアップデートしてください。

対象機器

- amnimo C シリーズ　屋内タイプコンパクトルーター AC10
- amnimo C シリーズ　屋内タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC15
- amnimo C シリーズ　屋外タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC25

機能追加

- telnet 機能を追加しました。
- NAT/フィルター機能のパケット合致条件の MAC アドレス設定にマスク設定を追加しました。
- クラウドビデオレコーダーCVR 機能を追加しました。
- CLI 機能において、IPsec 機能に再認証時に古い SA を作成する前に新しい SA を作成する設定を追加しました。
- GUI 機能において、無線 LAN のアクセスポイントの設定で 2.4GHz 側と 5GHz 側の有効/無効の状態を表示する機能を追加しました。

機能改善

- PPP サーバーに接続していない場合に PPP 設定の無効や削除をした際の PPP サービス停止の処理時間を短縮しました。
- PoE コントローラとの通信のエラー処理を改善しました。

仕様変更

- インターフェイス機能において、mtu 値を 1500 固定から 576～1500 に設定できるようにしました。

機種	対象インターフェイス
CR	eth0
CR	lan<0-1>、br<0-9>、wlan<0-1>

- GUI 機能において、GUI の時刻設定で入力する日時の値を PC 時刻のタイムゾーンでなく、デバイス時刻のタイムゾーンとして設定するように変更しました
- GUI 機能おいて、設定ファイルのダウンロード時、保存されている設定ファイル(startup-config)ではなく、現在動作中の設定ファイル(config.yaml)が取得できるように変更しました。
- ホスト名設定機能において、ホスト名に'.'(ドット)を利用できないように変更しました。(RFC1123 準拠)

不具合修正

- CLI 機能で管理者モードまたは設定モードで show config を実行した際に poe の設定が表示されない不具合を修正しました。（No.76）

- 無線 LAN アクセスポイント機能において、セキュリティタイプが
  - open

- open-wep128
- open-wep64
- shared-wep128
- shared-wep64

である場合、アクセスポイントに接続している機器の一覧表示に表示されない場合がある不具合を修正しました。(No.77)

- スケジュール機能において、general-control 設定のアクションでモバイルや PPP の接続を行う場合、関連する接続設定を変更しても、変更が反映されない不具合を修正しました。(No.80)
- 一部の Class4 の PoE カメラを接続した場合、カメラ側に電力不足の表示されるときがある不具合を修正しました。(No.81)
- インターフェイス機能において、先に wlan0 にステーション設定をし、その後ステーション詳細設定をしてもアクセスポイントに接続できない不具合を修正しました。(No.82)
- firmware area update 実行時に、オプション指定無しで実行した場合、片面のみ更新する不具合を修正しました。(No.83)

更新用ファームウェア URL

機種	参照先 URL
CR	・アプリケーション部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-2.6.2-b65301.amf ・ハードウェア制御部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-modem-ME3630ACV1.0B09-b62310.amf
CR CR	・アプリケーション部※ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15-2.6.2-b65299.amf ・ハードウェア制御部※ ・011JP タイプ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15-modem-ME3630AC15V1.0B09-b62306.amf ・061JP タイプ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15-modem-ME3630AC15V2.0B03-b62306.amf

※AC15 と AC25 のファームウェアは共通です。

バージョン 2.5.2 (2024/7/12)

OSS のアップデートを実施しました。

対象ファームウェア（バージョン）

- アプリケーション部 (2.5.2)※

バージョン 2.5.0 より新しいバージョンのアプリケーション部のファームウェアについては無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC15/AC25 の 011JP タイプと 061JP タイプを 1 つのファームウェアに統合しました。
本影響により、無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC15/AC25 のファームウェアはバージョン 1.13.0 以前のファームウェアから本バージョン以降に**直接ファームウェア更新をすることができず、エラーになります**。本バージョンへファームウェア更新を行う場合は一旦、バージョン 2.3.0 にアップデートしてください。

対象機器

- amnimo C シリーズ　屋内タイプコンパクトルーター AC10
- amnimo C シリーズ　屋内タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC15
- amnimo C シリーズ　屋外タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC25

OSS バージョンアップ

- SSH 機能に関連する OSS(OpenSSH)のバージョンアップを行いました。(CVE-2024-6387※への対応のため)

※amnimo X/G/R シリーズについては影響ありません。

更新用ファームウェア URL

機種	参照先 URL
CR	・アプリケーション部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-2.5.2-b63845.amf ・ハードウェア制御部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-modem-ME3630ACV1.0B09-b62310.amf
CR CR	・アプリケーション部※ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15-2.5.2-b63861.amf ・ハードウェア制御部※ ・011JP タイプ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15-modem-ME3630AC15V1.0B09-b62306.amf ・061JP タイプ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15-modem-ME3630AC15V2.0B03-b62306.amf

※AC15 と AC25 のファームウェアは共通です。

バージョン 2.5.1 (2024/6/19)

機能改善、不具合修正を実施しました。

対象ファームウェア（バージョン）

- アプリケーション部 (2.5.1)※

バージョン 2.5.0 より新しいバージョンのアプリケーション部のファームウェアについては無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC15/AC25 の 011JP タイプと 061JP タイプを 1 つのファームウェアに統合しました。
本影響により、無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC15/AC25 のファームウェアはバージョン 1.13.0 以前のファームウェアから本バージョン以降に**直接ファームウェア更新をすることができず、エラーになります**。本バージョンへファームウェア更新を行う場合は一旦、バージョン 2.3.0 にアップデートしてください。

対象機器

- amnimo C シリーズ　屋内タイプコンパクトルーター AC10
- amnimo C シリーズ　屋内タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC15
- amnimo C シリーズ　屋外タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC25

仕様変更

- デバイス管理機能において、DMS の通信プロトコルに使用しているタイムアウト時間を 60 秒から 18 秒に変更しました。

不具合修正

- デバイス管理機能において、デバイス管理システムからハードウェア制御のファームウェアを更新すると更新が成功しても、必ずエラーを表示する不具合を修正しました。(No.79)

更新用ファームウェア URL

機種	参照先 URL
CR	・アプリケーション部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-2.5.1-b63212.amf ・ハードウェア制御部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-modem-ME3630ACV1.0B09-b62310.amf
CR CR	・アプリケーション部※ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15-2.5.1-b63141.amf ・ハードウェア制御部※ ・011JP タイプ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15-modem-ME3630AC15V1.0B09-b62306.amf ・061JP タイプ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15-modem-ME3630AC15V2.0B03-b62306.amf

※AC15 と AC25 のファームウェアは共通です。

バージョン 2.5.0 (2024/5/15)

OSS バージョンアップ、機能追加、機能改善、仕様変更、不具合修正を実施しました。

対象ファームウェア（バージョン）

- アプリケーション部 (2.5.0)※
- ハードウェア制御部
  - AC10 (1.0B09)
  - AC15/25 (011JP タイプ：1.0B09, 061JP タイプ：2.0B03)

アプリケーション部のファームウェアについては無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC15/AC25 の 011JP タイプと 061JP タイプを 1 つのファームウェアに統合しました。
本影響により、無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC15/AC25 のファームウェアはバージョン 1.13.0 以前のファームウェアから本バージョン以降に**直接ファームウェア更新をすることができず、エラーになります**。本バージョンへファームウェア更新を行う場合は一旦、バージョン 2.3.0 にアップデートしてください。

対象機器

- amnimo C シリーズ　屋内タイプコンパクトルーター AC10
- amnimo C シリーズ　屋内タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC15
- amnimo C シリーズ　屋外タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC25

OSS バージョンアップ

- SSH 機能、パケットキャプチャ機能、DNS 機能、ファームウェアダウンロード機能、IPsec 機能に関連する OSS のバージョンアップを行いました。

機能追加

- GUI 機能において、設定変更後に設定が未保存である場合、その状態を GUI に表示するようにしました。
- GUI 機能において、アムニモ診断情報機能を追加しました。
- 屋内タイプコンパクトルーター AC10 の GUI 機能において、PPP 機能を使用できるようにしました。

仕様変更

- スケジュール機能において、キープアライブ設定の ping 送信元インターフェイスを設定できるようにしました。
- スケジュール機能において、スケジュールタイプが keep-alive の場合、フェイルセーフのリトライ設定をできるようにしました。
- スケジュール機能において、スケジュールタイプが general-control の場合、フェイルセーフ設定を削除しました。
- スケジュール機能に関して、無線 LAN チップのリセットに関連する設定仕様を変更しました。この仕様変更により general-control 設定においても無線 LAN チップのリセットが可能になりました。

スケジュールタイプ	アクション設定	
	バージョン 2.3.0 以前	バージョン 2.5.0 以降
keep-alive	`action wifi ap AP-IFNAME [reset <enable | disable>]` `action wifi sta STA-IFNAME [reset <enable | disable>]`	`action wifi-reset`
general-control	(該当項目無し)	`action wifi-reset [random RANDOM-TIME | uptime UPTIME]`

バージョン 2.5.0 以降で、「action wifi-reset」が入っている状態で、バージョン 2.3.0 以前にバージョンダウンした場合、正常に起動しません。
一方、バージョン 2.3.0 以前に、「action wifi ap」または「action wifi sta」を設定している場合、バージョン 2.5.0 以降にバージョンアップすると、「action wifi-reset」として認識し、正常に起動します。

不具合修正(アプリケーション部)

- CLI 機能で管理者モードまたは設定モードで show config を実行した際に wifi wps と user group の設定が表示されない不具合を修正しました。(No.47)
- GUI 機能で詳細設定から PPP の設定を削除しても PPP のサービスが停止しない不具合を修正しました。(No.48)
- 無線 LAN アクセスポイント機能において、2.4GHz と 5GHz を同時利用する場合、稀に切断し、ステーション側からの再接続ができない不具合を修正しました。(No.49)

スループットや接続安定性を求めた実運用での 2.4.GHz と 5GHz の同時利用は推奨しません。

- 無線 LAN 機能において、5GHz 帯で W53 モードまたは W56 モードを利用する際、DFS レーダーを受け移動可能なチャンネルがない場合、電波出力せず動作しなくなる不具合を修正しました。(No.51)
- 起動直後にファームアップを実行すると、ファームアップに失敗する場合がある不具合を修正しました。(No.53)
- モバイル機能設定時にモバイル機能が動作有効の状態で設定を変更した場合、接続できなくなる場合がある不具合を修正しました。(No.54)
- スケジュール機能において、PPP が手動接続されている場合、general-control で PPP 切断のアクションを設定しても、PPP 切断後、再接続してしまう不具合を修正しました。(No.55)
- PPP 機能において、PPP が接続中に関連する peer 設定を削除しても PPP の接続が停止しない不具合を修正しました。(No.56)
- インターフェイス機能において、リンクモードの設定を変更しても、100baseT-Auto 固定になっている不具合を修正しました。(No.57)
- インターフェイス機能において、リンクモードの設定が 100baseT-Auto 以外の設定が選択できる不具合を修正しました。(No.59)
- DHCP サーバーのフェイルセーフが有効状態から無効化された後、10 分経過するとアムニモの監視アプリ機器が再起動する不具合を修正しました。(No.60)
- イーサネットポートがリンクダウンした場合、IP アドレスが削除される不具合を修正しました。(No.61)
- NAT/フィルターの設定処理が失敗する場合がある不具合を修正しました。(No.62)
- PMTU 設定が設定しているインターフェイスに限らず、すべてのインターフェイスに反映している不具合を修正しました。(No.63)
- NTP 機能において、特定のインターフェイスのリンクアップによる同期を設定している場合、当該インターフェイスが無効化しても、NTP サーバーが動作し続ける不具合を修正しました。(No.64)
- NTP 機能において、sync-interface に設定されていないインターフェイス機能のリンクアップ時に NTP サーバーが再起動される不具合を修正しました。(No.65)
- NTP 機能において、設定処理が失敗する場合がある不具合を修正しました。(No.66)

- 無線 LAN アクセスポイント機能において、5GHz の設定が別途設定している 2.4GHz 設定を切り替え際に、反映されてなる場合がある不具合を修正しました。(No.68)
- syslog の message ファイルのローテート時に付与されるファイル番号が連番になっていない場合がある不具合を修正しました。(No.69)
- パケットキャプチャ機能において、インターフェイスとしては UP している状態ではあるが、IP アドレスが付与されていない場合にパケットキャプチャを実行するとエラーとなる不具合を修正しました。(No.70)
- サービス起動処理が異常終了した場合に、フェイルセーフ機能が動作しない不具合を修正しました。(No.71)
- モバイルモジュール機能において、rat service による 3G 固定や 4G 固定の設定機能が動作しない不具合を修正しました。(No.72)
- 無線 LAN アクセスポイント機能において、アクセスポイントに接続している機器の一覧表示に表示されている MAC アドレスの機器と通信できない場合がある不具合を修正しました。(No.73)

不具合修正(ハードウェア制御部)

- モバイルインターフェイス機能において、3G 回線でバンド 19 を利用すると、モバイル回線の通信ステータス表示やログ上ではバンド 12 として表示される不具合を修正しました。(No.52)
- モバイル通信インターフェイスの IP アドレス設定において、同一ネットワークアドレスに関わらず通信ができない場合がある不具合を修正しました。(No.67)

更新用ファームウェア URL

機種	参照先 URL
CR	・アプリケーション部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-2.5.0-62900.amf ・ハードウェア制御部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-modem-ME3630ACV1.0B09-b62310.amf
CR	・アプリケーション部※ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15-2.5.0-b62898.amf ・ハードウェア制御部※ ・011JP タイプ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15-modem-ME3630AC15V1.0B09-b62306.amf ・061JP タイプ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15-modem-ME3630AC15V2.0B03-b62306.amf

※AC15 と AC25 のファームウェアは共通です。

バージョン 2.4.0 (2024/1/30)

機能追加、機能改善、仕様変更、不具合修正を実施しました。

対象ファームウェア（バージョン）

- アプリケーション部 (2.4.0)
- ハードウェア制御部 AC10 (1.0B06)

対象機器

- amnimo C シリーズ　屋内タイプコンパクトルーター AC10

機能追加

- モバイル IP 透過モード機能を追加しました。CR
- GUI 機能の機器情報画面にハードウェアのファームウェアバージョンを表示するようにしました。CR
- CLI 機能と GUI 機能におけるモバイル通信状態表示機能の表示パラメータに通信継続時間を追加しました。CR

機能改善

- 設定データ機能のアクセス速度を改善しました。CR
- IPsec 機能において、local/remote id の設定パラメータの「fqdn」および「userfqdn」について、ドメインが 1 つだけでも設定可能とするようにしました。CR
- インターフェイス機能において、他のインターフェイスに同一ネットワークアドレスが存在する場合、設定時に警告を出力するようにしました。CR

仕様変更

- アカウント機能において、アカウント名、グループ名に半角数字のみの文字列は指定できないように変更しました。※1 CR
- CLI 機能の NAT 設定またはフィルター設定において、ポート範囲を「startport:endport」のように指定可能な箇所で大きい値を先に指定した場合は、エラーになるように変更しました。※2 CR
- プロキシ ARP のデフォルト値を無効に変更しました。CR
- スケジュール機能において、general-control 設定のアクションに disconnct アクション(PPP/モバイル)を設定し、各アクションの接続方法が常時接続「always」になっている場合は、再接続を行うように変更しました。CR

※1 バージョン 1.x.x 系で半角数字のみの文字列を指定していた場合、本バージョン以降にバージョンアップすると、当該ユーザー、グループは利用できず、正常に起動しません。
※2 バージョン 1.x.x 系でポート範囲を大きい値を先に指定していた場合、本バージョン以降にバージョンアップすると、正常に起動しません。

不具合修正

- CLI 機能に関して、管理者モードとユーザーモードのコマンド履歴が共通になっている不具合を修正しました。(No.37) CR
- CLI 機能の NAT 設定やフィルター設定において、pkt-type を省略して設定できない不具合を修正しました。(No.38) CR
- 同一ネットワークアドレスの IP アドレスが筐体内で設定されている場合に、片方の IP アドレスを無効化しても通信ができない不具合を修正しました。(No.39) CR
- デバイス管理システムにおいて、デバイスを有効化中、デバイス・クラウド間の通信エラーが原因で有効化処理が完了しないことがある問題を修正しました。(No.40) CR
- デバイス管理システムのエージェントプログラムのフェイルセーフの数値がスケジュール機能のフェイルセーフの数値と重複していた箇所を修正しました。(No.41) CR
- DNS サーバーが稀に起動しない場合がある現象を修正しました。(No.42) CR
- PPP パラメータ変更時に“Failed to restore settings.”が発生する現象を修正しました。(No.43) CR
- インターフェイス機能の DHCP クライアントの NTP 取得機能を無効にした場合、NTP サーバーリスト表示に NTP サーバーのリストが残ってしまう不具合を修正しました。(No.44) CR
- CLI 機能で管理者モードまたは設定モードで show config を実行した際に wifi wps※と user group の設定が表示されない不具合を修正しました。(No.47) CR

  ※wifi wps は AC15,AC25 のみ

- モバイル機能設定時において、モバイル機能が動作有効の状態で設定を変更した場合、接続できなくなる場合がある不具合を修正しました。(No.54) CR
- インターフェイス機能において、DHCP クライアント設定されている場合、dhcp4 mtu で DHCP サーバーの MTU を取得する設定がある状態にもかかわらず、mtu で設定された数値になる不具合を修正しました。(No.58) CR

更新用ファームウェア URL

機種	参照先 URL
CR	・アプリケーション部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-2.4.0-60917.amf ・ハードウェア制御部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-modem-ME3630ACV1.0B06-b26717.amf

バージョン 2.3.0 (2024/1/25)

機能追加、機能改善、仕様変更、不具合修正を実施しました。

対象ファームウェア（バージョン）

- アプリケーション部 (2.3.0)
- ハードウェア制御部 AC15/25 (011JP タイプ：1.0B07, 061JP タイプ：2.0B02)

対象機器

- amnimo C シリーズ　屋内タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC15
- amnimo C シリーズ　屋外タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC25

機能追加

- GUI 機能の機器情報画面にハードウェアのファームウェアバージョンを表示するようにしました。
- CLI 機能と GUI 機能におけるモバイル通信状態表示機能の表示パラメータに通信継続時間を追加しました。

機能改善

- 無線 LAN ドライバを更新しました。
- 設定データ機能のアクセス速度を改善しました。
- IPsec 機能において、local/remote id の設定パラメータの「fqdn」および「userfqdn」について、ドメインが 1 つだけでも設定可能とするようにしました。
- インターフェイス機能において、他のインターフェイスに同一ネットワークアドレスが存在する場合、設定時に警告を出力するようにしました。

仕様変更

- アカウント機能において、アカウント名、グループ名に半角数字のみの文字列は指定できないように変更しました。※1
- CLI 機能の NAT 設定またはフィルター設定において、ポート範囲を「startport:endport」のように指定可能な箇所で大きい値を先に指定した場合は、エラーになるように変更しました。※2
- プロキシ ARP のデフォルト値を無効に変更しました。

※1 バージョン 1.x.x 系で半角数字のみの文字列を指定していた場合、本バージョン以降にバージョンアップすると、当該ユーザー、グループは利用できず、正常に起動しません。
※2 バージョン 1.x.x 系でポート範囲を大きい値を先に指定していた場合、本バージョン以降にバージョンアップすると、正常に起動しません。

不具合修正

- CLI 機能に関して、管理者モードとユーザーモードのコマンド履歴が共通になっている不具合を修正しました。(No.37)
- CLI 機能の NAT 設定やフィルター設定において、pkt-type を省略して設定できない不具合を修正しました。(No.38)
- 同一ネットワークアドレスの IP アドレスが筐体内で設定されている場合に、片方の IP アドレスを無効化しても通信ができない不具合を修正しました。(No.39)
- デバイス管理システムにおいて、デバイスを有効化中、デバイス・クラウド間の通信エラーが原因で有効化処理が完了しないことがある問題を修正しました。(No.40)
- デバイス管理システムのエージェントプログラムのフェイルセーフの数値がスケジュール機能のフェイルセーフの数値と重複していた箇所を修正しました。(No.41)
- DNS サーバーが稀に起動しない場合がある現象を修正しました。(No.42)
- PPP パラメータ変更時に“Failed to restore settings.”が発生する現象を修正しました。(No.43)
- インターフェイス機能の DHCP クライアントの NTP 取得機能を無効にした場合、NTP サーバーリスト表示に NTP サーバーのリストが残ってしまう不具合を修正しました。(No.44)
- 無線 LAN のアクセスポイントを無効にした場合、関連するインターフェイスの接続ステータスが正常に表示されない場合がある不具合を修正しました。(No.45)
- インターフェイス機能において、DHCP クライアント設定されている場合、dhcp4 mtu で DHCP サーバーの MTU を取得する設定がある状態にもかかわらず、mtu で設定された数値になる不具合を修正しました。(No.58)

更新用ファームウェア URL

機種	参照先 URL
	・アプリケーション部※ ・011JP タイプ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15-011-2.3.0-b60511.amf ・061JP タイプ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15-061-2.3.0-b60511.amf ・ハードウェア制御部※ ・011JP タイプ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15-modem-ME3630AC15V1.0B07-b51106.amf ・061JP タイプ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15-modem-ME3630AC15V2.0B02-b59103.amf

※AC15 と AC25 のファームウェアは共通です。

バージョン 1 系のファームウェアは 011JP タイプのみです。

バージョン 1.13.0 (2023/9/29)

機能追加、機能改善、仕様変更、不具合修正を実施しました。

対象ファームウェア（バージョン）

- アプリケーション部 (1.13.0)
- ハードウェア制御部 AC10 (1.0B06), AC15/25 (1.0B07) ※変更なし

対象機器

- amnimo C シリーズ　屋内タイプコンパクトルーター AC10
- amnimo C シリーズ　屋内タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC15
- amnimo C シリーズ　屋外タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC25

機能追加

- デバイス管理機能において、クラウド側から PoE の制御機能を追加しました。

機能改善

- ファームウェア更新機能を改善しました。

仕様変更

- 無線 LAN アクセスポイント機能のデフォルトのセキュリティタイプを「wpa2-psk-wpa3-sae-mixed-mixed」※から「wpa2-psk-wpa3-sae-mixed-aes」に変更しました。

※WPA3 パーソナルでは TKIP はサポートしないため、「wpa2-psk-wpa3-sae-mixed-mixed」は非推奨の設定になります。今後のアップデートで本設定は削除予定です。

- 無線 LAN 機能において、BMPS(Beacon Mode Power Save)の無効化しました。

不具合修正

- スケジュール機能における起動経過時間によるソフトウェアリブートまたはハードウェアリブートのアクション設定において、フェイルセーフを有効にしている場合、リブートしない不具合を修正しました。(No.27)
- CLI 機能に関して、インターフェイス機能の DHCP、PPP 及びモバイルのルート設定時にエラーになるような値を設定しても、実際の設定として有効としている場合がある不具合を修正しました。（No.36）

更新用ファームウェア URL

機種	参照先 URL
CR	・アプリケーション部※ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-1.13.0-54492.amf ・ハードウェア制御部※ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-modem-ME3630ACV1.0B06-b26717.amf
CR CR	・アプリケーション部※ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15-1.13.0-b54490.amf ・ハードウェア制御部※ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15-modem-ME3630AC15V1.0B07-b51106.amf

※AC15 と AC25 のファームウェアは共通です。

バージョン 1.12.0 (2023/9/4)

amnimo C シリーズ　屋外タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーターに機能追加をしました。
仕様変更、不具合修正も実施しました。

対象ファームウェア（バージョン）

- アプリケーション部 (1.12.0)
- ハードウェア制御部 (1.0B07)

対象機器

- amnimo C シリーズ　屋内タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC15
- amnimo C シリーズ　屋外タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC25

機能改善(ハードウェア制御部)

- DIP スイッチ制御※の初期化処理を改善しました。

※AC15,AC25 ともに現在 DIP スイッチを利用した機能は提供していませんので、アップデートの必要はありません。

機能追加(アプリケーション部)

- スケジュール機能のスケジュールタイプ「general-control」において、ランダム実行待ち時間設定と起動経過時間設定によるソフトウェアリブート、ハードウェアリブートを実行できる機能を追加しました。

仕様変更(アプリケーション部)

- インターフェイスの wlan1 が無効になっている場合に UP 状態になっている仕様を DOWN 状態とする仕様に変更しました。
- ブリッジインターフェイスのバインドされているインターフェイスをすべて DOWN 状態にした場合、DOWN 状態とする仕様に変更しました。

不具合修正(アプリケーション部)

- インターフェイス設定において、DHCP クライアント設定を有効にした後、インターフェイス設定を有効にすると設定に失敗する場合がある不具合を修正しました。（No.24）
- CLI 機能に関して、WPS 機能の PIN コード生成のコマンドの文字列を「pin genarate」から「pin generate」に修正しました。（No.25）
- インターフェイス設定の DHCP クライアント設定が有効で固定 IP アドレスが設定されている場合、DHCP クライアントを無効にすると固定 IP アドレスが無効になる不具合を修正しました。(No.26)
- スケジュール機能における PPP 切断のアクション設定が動作しない不具合を修正しました。（No.28）
- 複数の DHCP リレーを同時に利用した場合に、一方のクライアントに IP が払い出されない不具合を修正しました。（No.30）
- DHCP サーバーが設定されている無線 LAN インターフェイスで、関連する無線 LAN 設定を無効化が可能になる不具合を修正しました。（No.31）
- 複数のインターフェイスで DHCP クライアントの設定がある場合、一部の DHCP クライアントの IP が削除されてしまう不具合を修正しました。（No.32）
- WPS の実行ボタンを押下後、接続が完了していても稀にタイムアウトエラーになってしまう場合がある不具合を修正しました。（No.33）
- 無線 LAN ステーションのアクセスポイント切替でエラーが発生する不具合を修正しました。（No.34）

全体更新用ファームウェア URL

機種	参照先 URL
CR	・アプリケーション部※ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15-1.12.0-b53324.amf
CR	・ハードウェア制御部※ https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15-modem-ME3630AC15V1.0B07-b51106.amf

※AC15 と AC25 のファームウェアは共通です。

バージョン 1.11.0 (2023/6/30)

amnimo C シリーズ　屋内タイプコンパクトルーターに機能追加をしました。

対象ファームウェア（バージョン）

- アプリケーション部 (1.11.0)
- ハードウェア制御部 (1.0B06) ※変更なし

対象機器

- amnimo C シリーズ　屋内タイプコンパクトルーター AC10

機能追加

- スケジュール機能のスケジュールタイプ「general-control」において、ランダム実行待ち時間設定と起動経過時間設定によるソフトウェアリブート、ハードウェアリブートを実行できる機能を追加しました。

全体更新用ファームウェア URL

機種	参照先 URL
CR	・アプリケーション部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-1.11.0-b49054.amf ・ハードウェア制御部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-modem-ME3630AC15V1.0B06- b26717.amf

バージョン 1.10.0 (2023/6/14)

amnimo C シリーズ　屋内タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーターをリリースしました。

対象機器

- amnimo C シリーズ　屋内タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC15

対象ファームウェア（バージョン）

- アプリケーション部 (1.10.0)
- ハードウェア制御部 (1.0B06)

全体更新用ファームウェア URL

機種	参照先 URL
	・アプリケーション部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15-1.10.0-b46354.amf ・ハードウェア制御部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac15-modem-ME3630AC15V1.0B06-b43059.amf

バージョン 1.9.3 (2023/5/25)

不具合修正を実施しました。

対象機器

- amnimo C シリーズ　屋内タイプコンパクトルーター AC10

対象ファームウェア（バージョン）

- アプリケーション部 (1.9.3)
- ハードウェア制御部 (1.0B06) ※変更なし

機能改善

- 設定データ保存処理の耐電源断性を向上しました。

仕様変更

- SIM 切り替え回数の上限(10 万回)を解除しました。

不具合修正

- 電源起動直後、稀にイーサネットポートについて、LAN ケーブル接続状態でもリンクダウン状態のままになる問題を修正しました。（No.21）
- GUI 機能に関して、モバイルモジュール情報を更新ボタンで更新する際、SIM1 側の情報が更新されない問題を修正しました。（No.22）
- デバイス管理システムにおいて、クラウド側からのデバイスの有効化に最大 2 時間かかる場合がある問題を修正しました。（No.23）

全体更新用ファームウェア URL

機種	参照先 URL
CR	・アプリケーション部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-1.9.3-b44879.amf ・ハードウェア制御部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-modem-ME3630ACV1.0B06-b26717.amf

バージョン 1.9.0 (2023/3/6)

機能追加及び不具合修正を実施しました。

対象機器

- amnimo C シリーズ　屋内タイプコンパクトルーター AC10

対象ファームウェア（バージョン）

- アプリケーション部 (1.9.0)
- ハードウェア制御部 (1.0B06) ※変更なし

機能追加

- DHCP サーバーのフェイルセーフ機能を追加しました。(CLI のみ)

機能改善

- ファームウェア更新機能の安定性を向上しました。
- DMS 機能のキープアライブの間隔を調整しました。

不具合修正

- モバイル通信設定(peer)およびセッション設定(session)を行った後、モバイル通信機能を停止する場合に、モバイル通信設定のセッション設定の削除を行うと、機器情報画面でエラーが発生する不具合を修正しました。(No.19)
- プロキシ機能の FQDN ブラックリスト制御の FQDN 設定を行うと、意図せず URL ホワイトリスト制御が有効になる不具合を修正しました。(No.20)

全体更新用ファームウェア URL

機種	参照先 URL
CR	・アプリケーション部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-1.9.0-b37649.amf ・ハードウェア制御部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-modem-ME3630ACV1.0B06-b26717.amf

バージョン 1.8.1 (2022/12/19)

機能追加、機能改善を実施しました。

対象機器

- amnimo C シリーズ　屋内タイプコンパクトルーター AC10

対象ファームウェア（バージョン）

- アプリケーション部 (1.8.1)
- ハードウェア制御部 (1.0B06) ※変更なし

不具合修正

- 設定ファイルのダウンロードに失敗する場合がある不具合を修正しました。(No.15)
- 複数のフィルター設定を同時に削除すると通信エラーが発生する場合がある不具合を修正しました。(No.16)

全体更新用ファームウェア URL

機種	参照先 URL
CR	・アプリケーション部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-1.8.1-b34741.amf ・ハードウェア制御部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-modem-ME3630ACV1.0B06-b26717.amf

バージョン 1.8.0 (2022/12/02)

機能追加、機能改善を実施しました。

対象機器

- amnimo C シリーズ　屋内タイプコンパクトルーター AC10

対象ファームウェア（バージョン）

- アプリケーション部 (1.8.0)
- ハードウェア制御部 (1.0B06) ※変更なし

機能追加

- プロキシサーバー機能の追加
- アカウントのグループ権限設定機能を追加
- DNS 機能に別名定義設定を追加
- IPsec 機能にパススルー設定を追加

仕様変更

- アカウント設定時にユーザー名の先頭文字が数値の場合はエラー扱いとしました。(No.2)

不具合修正

- GUI 機能のインターフェイス設定で「起動時確認無効」のチェックボックスを削除しました。(No.9)
- CLI 機能のインターフェイス設定で IP アドレス削除後、GUI 機能のインターフェイス設定画面で当該インターフェイスの設定の編集を行うと、設定が正しく表示されず、編集が行えない問題を修正しました。(No.11)
- DHCP サーバー起動時に定期的に「Can't create new lease file: Permission denied」が出力される現象を修正。（No.12）

全体更新用ファームウェア URL

機種	参照先 URL
CR	・アプリケーション部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-1.8.0-b33331.amf ・ハードウェア制御部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-modem-ME3630ACV1.0B06-b26717.amf

バージョン 1.7.0 (2022/09/30)

機能追加、機能改善を実施しました。

対象機器

- amnimo C シリーズ　屋内タイプコンパクトルーター AC10

対象ファームウェア（バージョン）

- アプリケーション部 (1.7.0)
- ハードウェア制御部 (1.0B06) ※変更なし

機能追加

- IPsec 機能
- DHCP リレー機能
- remote.it 機能

仕様変更・機能改善

- 温度表示の PA1 を削除しました。(PA1 は未使用であるため。)
- CLI 機能にて、DHCP リース情報表示の manufacturer 欄を削除しました。
- Web フォントを利用しないように変更しました。(モバイル通信が低速化した場合に、フォント表示が遅くなるため。)
- モバイル設定のネットワークオペレータ選択機能の追加、MTU 設定範囲を拡大しました。
- ルーティング情報表示にステータス列を追加しました。
- NAT とパケットフィルタ設定にて、esp/ah パラメタの設定、動的 SNAT で使用する送信元ポート番号の範囲指定を追加しました。
- packet-dump コマンドの interface オプションで選択可能になるインターフェイスに UP 中のインターフェイスも選択可能にする表示仕様を変更しました。
- 各設定画面に現在の設定をデバイスに保存するためのボタンを追加しました。
- 時刻設定画面の時刻表示のキャプションを修正しました。

不具合修正

- タイムゾーンを変更しても、スケジュール機能の時刻設定に変更が反映されない問題を修正しました。(No.1)
- コンパクトルーターにおいて、スケジューリング機能においてキープアライブ成功時にフェイルセーフのリトライカウンタをリセットしない。(No.3)
- デバイス管理システムの履歴上で AC10 の 起動時刻が誤って表示される問題を修正しました。(No.5)
- ストレージ設定の新規追加で実際のストレージのファイルシステムと異なるファイルシステムを選ぶとエラーダイアログ表示されるが問題を修正しました。(No.6)
- GUI 機能でハードウェア制御部のファームウェアの更新をするとエラーが発生する問題を修正しました。(No.7)
- CLI 機能でインターフェイス設定において”no dhcp ntp”を設定しても、DHCP サーバーから配布された NTP サーバーが有効である問題を修正しました。(No.8)

全体更新用ファームウェア URL

機種	参照先 URL
CR	・アプリケーション部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-1.7.0-b28228.amf ・ハードウェア制御部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-modem-ME3630ACV1.0B06-b26717.amf

バージョン 1.6.1 (2022/8/10)

機能改善を実施しました。

対象機器

- amnimo C シリーズ　屋内タイプコンパクトルーター AC10

対象ファームウェア（バージョン）

- アプリケーション部 (1.6.1)
- ハードウェア制御部 (1.0B06)

機能改善・不具合修正

- 温度制御機能動作時に出力される syslog メッセージが約 40°C以上で出力される問題を修正しました。

全体更新用ファームウェア URL

機種	参照先 URL
CR	・アプリケーション部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-1.6.1-b24823.amf ・ハードウェア制御部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-modem-ME3630ACV1.0B06-b26717.amf

バージョン 1.6.0 (2022/7/15)

amnimo C シリーズ　屋内タイプコンパクトルーターをリリースしました。

対象機器

- amnimo C シリーズ　屋内タイプコンパクトルーター AC10

対象ファームウェア（バージョン）

- アプリケーション部 (1.6.0)
- ハードウェア制御部 (1.0B05)

全体更新用ファームウェア URL

機種	参照先 URL
CR	・アプリケーション部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-1.6.0-b23553.amf ・ハードウェア制御部 https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ac10-1.6.0-b23416-modem.amf

第2章　注意事項

本機器を利用する際の注意事項について記載します。

2.1　制限事項と既知問題について

2.1.1　最新バージョン関連の制限事項と既知問題

No.	内容	影響範囲	対象機器
105	ファームウェア更新の際、メモリ不足により失敗する場合がある。 ➔ **ワークアラウンド** ファームウェア更新実施時は以下の点に配慮してください。 ● デバイス管理システム側でファームアップ実行停止直後に、ローカル側でファームアップを実施しないようにする。 ● GUI/SSH などで同じ端末に複数同時接続をしないようにする。 ● GUI のダッシュボード画面は表示しないようにする。 ● GPS 機能や DHCP サーバー機能、NTP サーバー機能などファームアップに関係ない機能を一時的に停止する。（クラウドビデオレコーダー機能はファームアップ時には自動的に一時停止します。）	1.10.0～	CR CR
100	統合デバイス管理機能において、フィルター設定した状態でリンクアップまたはリンクダウンを行うと一定時間デバイスとの通信ができなくなる。	1.6.0～	CR CR CR
98	大量（数百件以上）のアクセスポイント一覧を表示する場合、CLI 機能がダウンしてしまう。	1.10.0～	CR CR
95	フィルター設定のコントラックルールを適用した場合、デバイス管理システムとの接続中に、LAN 機器の切断・接続が起きると一定時間 DMS と接続不能(最大 10 分)になる。	1.6.0～	CR CR CR
75	CLI 機能の WPS 設定において「wifi connect wps pbc」で WPS 接続を実施した場合、無線 LAN の LED が点滅する。	1.10.0～	CR CR
54	モバイル機能設定時にモバイル機能が動作有効の状態で設定を変更した場合、接続できなくなる場合がある。 ➔ **ワークアラウンド** モバイル機能の動作を無効にして、設定変更を実施し、その後動作を有効にしてください。	1.6.0～	CR CR CR
50	無線 LAN 機能において、セキュリティタイプに WPA3 を利用する場合、稀に接続できなくなる。 ➔ **ワークアラウンド** No.49 と同じ。	1.10.0～	CR CR
47	CLI 機能で管理者モードまたは設定モードで show config を実行した際に wifi wps※と user group の設定が表示されない。 ※wifi wps は AC15,AC25 のみ	1.6.0～	CR CR CR

No.	内容	影響範囲	対象機器
46	GUI 機能で 2000-01-01 00:00:00 を設定し再起動しても時刻が設定されない。	1.6.0～	CR CR CR
18	追加したグループ設定に属しているアカウントについて、それらのアカウントをすべて別のグループにしても、追加したグループ設定が削除できない。 ➔ **ワークアラウンド** 所属しているアカウントをすべて削除した後、グループ設定を削除してください。	1.8.0～	CR CR CR
14	初期パスワード入力時に Ctrl+D を入力してもログインに戻らない。 ➔ **ワークアラウンド** 電源リセット行ってください。	1.6.0～	CR CR CR
10	CLI 機能のアカウント設定の自動ログアウト機能が動作しない。	1.6.0～	CR CR CR

2.1.2　最新バージョン修正済み一覧

No.	内容	影響範囲	対象機器
122	GUI 機能の IPsec 機能において、パススルー設定時､接続状態が正しく表示されず｢切断中｣と表示される。	3.3.0	CR CR CR
121	クラウドビデオレコーダー機能において、一部のカメラで ONVIF レスポンスエラーが発生する。	2.6.2～3.3.0	CR CR
120	クラウドビデオレコーダー機能において、クラウド録画が一部のケースで開始されない。	2.6.2～3.3.0	CR CR
119	クラウドビデオレコーダー機能において、PTZ 操作のサポート情報が正しく更新されない。	2.6.2～3.3.0	CR CR
118	プロキシサーバーの表示権限を”show:config:proxy”のみに設定した場合、GUI 機能においてプロキシポートのみの画面が表示されない。	3.3.0	CR
117	設定初期化時に設定ファイルの dhcp ノードに subnet が出力される。	3.3.0	CR CR
116	GUI 機能のトラフィック表示機能で、eth0 がない機器で eth0 が選択できる。	3.3.0	CR CR
115	DHCP サーバ機能において、dns/ntp に auto 指定があるとき、インターフェイス機能で本来は削除できない関連するインターフェイス設定を削除できる。	3.3.0	CR CR CR
114	PoE 機能において、PoE コントローラから変化イベントを受け続けると異常監視機能より機器が再起動する	1.6.0～3.3.0	CR
113	アカウント機能において、設定初期化時にアカウントユーザー、アカウントグループの削除に失敗した場合にエラーメッセージが出力されず設定も復旧しない。	1.6.0～3.3.0	CR CR CR
112	アカウント機能において、アカウントのパスワード変更、グループ変更およびパスワード有効期限に失敗した場合、変更エラーとなるが、設定項目から抜けるとセグメンテーションフォルトが発生する。	1.6.0～3.3.0	CR CR CR
111	アカウント機能において、ログイン中のアカウントをアカウント機能でユーザーまたは所属しているグループを削除すると失敗するが、元の設定復旧処理が失敗する不具合を修正しました。	1.6.0～3.3.0	CR CR CR
110	起動時に NAND フラッシュの ECC エラーを検知した場合、ECC エラーの復旧処理が行われず処理が停止し、再起動を繰り返す場合がある。	1.6.0～2.7.0	CR CR CR
109	GUI 機能において、クラウドビデオレコーダー機能を有効化時に設定ファイルが存在しない場合、GUI 上にエラーが表示されない。	2.6.0～3.3.0	CR CR
108	LTE 経由の IPsec 接続において、自拠点側の LAN 側サブネットアドレスが対向拠点側の LAN 側サブネットアドレスの中に含まれる構成時に、IPsec のパススルー設定を行っていない状況でも自身の LAN 側 IP アドレス向けの通信が IPsec 対向側と行える。	3.3.0	CR CR CR

No.	内容	影響範囲	対象機器

107	LTE 経由の IPsec 接続環境で DHCP リレーを利用する場合、DHCP リレーのパケットが対向側の IPsec へ送信されない。
	ワークアラウンド
	SNAT の設定を行い、DHCP サーバー向けのパケットの送信元を自身の LAN 側 IP アドレスに変換する設定を追加してください。
	以下は、UDP 67 番ポート(DHCP のサーバ向けメッセージ)のパケットを IPsec で利用している自身の LAN 側の IP アドレス(192.168.3.1)へ SNAT を行う設定例です。
	`amnimo(cfg)# show config nat static-snat 200`
	`# ---- nat static-snat configure ----`
	`# ---- rule 200 ----`
	`nat static-snat 200`
	`enable`
	`out-interface rmnet_data0 to-ip 192.168.3.1`
	`match protocol udp dst-port 67`
	`exit`
		3.3.0	CR CR CR

106	クラウドビデオレコーダー機能が有効でかつカメラ設定もされている場合に、機器起動時からインターネットに繋がらない状態にログが大量に出力される。その影響で CPU 使用率が 100%になる。 運用中にネットワーク障害によりフェイルセーフ機能により機器が再起動し、その際ネットワークに接続されない場合に同様の症状になる。 ログの出力が継続している場合においても、本製品採用の NAND フラッシュの寿命は 1 年以上保持できます。	2.6.2～ 3.3.0	CR CR
104	DHCP サーバーから配布される NTP サーバーリストが更新できていない。	2.6.2～ 3.1.1	CR CR CR
103	モバイル回線接続処理に失敗するケースで IP アドレス取得異常、モバイルインターフェイス異常が含まれていないため、フェイルセーフ処理が実行されない。	1.6.0～ 3.1.1	CR CR CR
102	CLI 機能において ping および traceroute において <DEST_IP_ADDR> の先頭文字に '-' を指定できる不具合を修正しました。	1.6.0～ 3.1.1	CR CR CR
101	インターフェイス機能において、ブリッジのリンク状態がブリッジに追加されたインターフェイスのリンク状態に連動しない不具合を修正しました。	1.6.0～ 3.1.1	CR CR
99	スケジュール機能で複数登録した ping の宛先のうち、最初の宛先 に送信されない。	1.6.0～ 3.3.0	CR CR CR
97	インターフェイス設定で dns のプライオリティに 8 もしくは 9 を選択すると正しく動作しない。	1.6.0～ 3.3.0	CR CR CR

No.	内容	影響範囲	対象機器
96	IPsec 機能において IKE を共有している複数の SA の接続が存在する状況で、一方の SA に対して CLI コマンドやスケジュールからの切断動作を行った場合、他の SA も切断してしまう。	1.6.0～ 2.7.0	CR CR CR
94	無線 LAN 機能において TKIP を利用した以下の暗号通信方式が利用できない。 ● wpa-psk-tkip ● wpa-psk-mixed ● wpa2-psk-tkip ● wpa2-psk-mixed ● wpa-wpa2-mixed-psk-tkip ● wpa-wpa2-mixed-psk-mixed ● wpa2-psk-wpa3-sae-mixed-mixed ! TKIP は現在ではセキュリティが低い暗号方式とされており、実運用での利用は非推奨です。	3.1.1	CR CR
93	ドメイン名が以下の条件の場合、スケジュール機能のキープアライブ設定の ping の宛先やネットワーク状態確認コマンドの traceroute および ping の宛先として指定できない。 ● 第 3 レベルドメインが存在し、第 2 レベルドメインに '-' または数字が含まれる。 ● 第 4 レベル以上のドメインが存在する。（ネットワーク状態確認コマンドのみ） #第 3 レベルまでラベルが存在するドメイン名の第 2 レベルドメインに '-' が含まれると実行できない amnimo$ traceroute www.aaa-bbb.com Invalid argument:dst amnimo$ #第 2 レベルまでしかラベルが存在しない場合は第 2 レベルドメインに '-' が含まれていても実行可能 amnimo$ traceroute aaa-bbb.com traceroute to aaa-bbb.com (52.14.144.171), 30 hops max, 38 byte packets 1 10.10.10.254 (10.10.10.254) 0.541 ms 1.246 ms 1.177 ms 2 192.168.1.1 (192.168.1.1) 2.141 ms 1.119 ms 1.136 ms	1.6.0～ 2.7.0	CR CR CR
92	GUI 機能において、URL 指定でファイルダウンロード開始直後（進捗率 0%）にキャンセルボタンを押すと通信エラーが発生する	1.6.0～ 2.7.0	CR CR CR
91	DHCP サーバーから相手機器の DHCP クライアントに配布された設定値どおりに設定・変更されない。	1.6.0～ 2.7.0	CR CR CR
90	フェイルセーフ機能において、リブート実施後 10 秒以内はリトライカウントアップが実施可能な状態が存在し、正確なリトライ制御ができない。	1.6.0～ 2.7.0	CR CR CR

No.	内容	影響範囲	対象機器
89	モバイル通信制御の再接続処理時に IP アドレスが取得できなかった場合に異常処理がされていない。	1.6.0～ 2.7.0	CR CR CR
88	show config 実行時に、モバイル情報を取得できない場合、エラー内容を含めて表示する。（show config の結果をそのままコピー＆ペーストで機器の設定として利用できない。）	1.6.0～ 2.7.0	CR CR CR
87	瞬電後に PoE が復旧しないことがある。	1.10.0～ 2.7.0	CR
86	複数 SIM 使用時に SIM を切り替えて通信ができない場合がある。	1.6.0～ 2.7.0	CR CR CR
85	ファームウェアアップデートで、NAND フラッシュのバッドブロックが発生した場合、ベリファイエラーでファームアップが失敗する。	2.4.0～ 2.7.0	CR CR CR
84	コンパクトルーターでイーサネットを接続せずに起動すると、eth0 のリンクランプ緑が点灯（点滅）状態になる。	1.6.0～ 2.7.0	CR
83	firmware area update 実行時に、オプション指定無しで実行した場合、片面のみ更新してしまう。	1.6.0～ 2.5.2	CR CR CR
82	インターフェイス機能において、先に wlan0 にステーション設定をし、その後ステーション詳細設定をしてもアクセスポイントに接続できない。 ➔ wlan0 を一旦「no enable」とし、「enable」とすると接続が可能になります。	1.10.0～ 2.5.2	CR CR
81	一部の Class4 の PoE カメラを接続した場合、カメラ側に電力不足の表示されるときがある。 ➔ ルーター側は Class4 として認識していますので、Class4 の電力を供給することが可能になっています。	1.10.0～ 2.5.2	CR
80	スケジュール機能において、general-control 設定のアクションでモバイルや PPP の接続を行う場合、関連する接続設定を変更しても、変更が反映されない。	1.6.0～ 2.5.2	CR CR CR
79	デバイス管理機能において、デバイス管理システムからハードウェア制御のファームウェアを更新すると更新が成功しても、必ずエラーを表示する。	1.6.0～ 2.5.0	CR CR CR
78	インターフェイス機能において、dhcp mtu 有効時の mtu の値が設定されない。 ➔ **ワークアラウンド** DHCP クライアント設定の際に自身で設定した MTU を利用する場合は、"dhcp4 mtu"を削除する。(no dhcp4 mtu とする)	1.6.0～ 3.3.0	CR CR CR

No.	内容	影響範囲	対象機器
77	無線 LAN アクセスポイント機能において、セキュリティタイプが ● open ● open-wep128 ● open-wep64 ● shared-wep128 ● shared-wep64 である場合、アクセスポイントに接続している機器の一覧表示に表示されない場合がある。	2.5.0～ 2.6.2	
76	CLI 機能で管理者モードまたは設定モードで show config を実行した際に poe の設定が表示されない。	1.12.0～ 2.5.2	
73	無線 LAN アクセスポイント機能において、アクセスポイントに接続している機器の一覧表示に表示されている MAC アドレスの機器と通信できない場合がある。	1.10.0～ 2.3.0	
72	モバイルモジュール機能において、rat service による 3G 固定や 4G 固定の設定機能が動作しない。	1.7.0～ 2.4.0	
71	サービス起動処理が異常終了した場合に、フェイルセーフ機能が動作しない。	1.6.0～ 2.4.0	
70	パケットキャプチャ機能において、インターフェイスとしては UP している状態ではあるが、IP アドレスが付与されていない場合にパケットキャプチャを実行するとエラーとなる。	1.6.0～ 2.4.0	
69	syslog の message ファイルのローテート時に付与されるファイル番号が連番になっていない場合がある。	1.6.0～ 2.4.0	
68	無線 LAN アクセスポイント機能において、5GHz の設定が別途設定している 2.4GHz 設定を切り替え際に、反映されてなる場合がある。	1.10.0～ 2.3.0	
67	モバイル通信インターフェイスの IP アドレス設定において、同一ネットワークアドレスに関わらず通信ができない場合がある。 ※ハードウェア制御部側に関連した制限事項になります。	1.0B05～ 1.0B07, 2.0B03	
66	NTP 機能において、設定処理が失敗する場合がある。	1.6.0～ 2.4.0	
65	NTP 機能において、sync-interface に設定されていないインターフェイス機能のリンクアップ時に NTP サーバーが再起動される。	1.10.0～ 2.4.0	

No.	内容	影響範囲	対象機器
64	NTP 機能において、が特定のインターフェイスのリンクアップによる同期を設定している場合、当該インターフェイスが無効化しても、NTP サーバーが動作し続ける。	1.10.0～ 2.4.0	CR CR CR
63	PMTU 設定が設定しているインターフェイスに限らず、すべてのインターフェイスに反映している。	1.6.0～ 2.4.0	CR CR CR
62	NAT/フィルターの設定処理が失敗する場合がある。	1.6.0～ 2.4.0	CR CR CR
61	イーサネットポートがリンクダウンした場合、IP アドレスが削除される。	1.6.0～ 2.4.0	CR CR CR
60	DHCP サーバーのフェイルセーフが有効状態から無効化された後、10 分経過するとアムニモの監視アプリ機器が再起動する。	2.3.0, 2.4.0	CR CR CR
59	インターフェイス機能において、リンクモードの設定が 100baseT-Auto 以外の設定が選択できる。	1.13.0～ 2.3.0	CR CR
58	インターフェイス機能において、DHCP クライアント設定されている場合、dhcp4 mtu で DHCP サーバーの MTU を取得する設定がある状態にもかかわらず、mtu で設定された数値になる。	1.6.0～ 1.13.0	CR CR CR
57	インターフェイス機能において、リンクモードの設定を変更しても、100baseT-Auto 固定になっている。	1.13.0～ 2.4.0	CR
56	PPP 機能において、PPP が接続中に関連する peer 設定を削除しても PPP の接続が停止しない。 ➔ **ワークアラウンド** PPP の接続を停止する場合は、インターフェイス側の PPP 設定を無効にしてください。	2.4.0	CR
55	スケジュール機能において、PPP が手動接続されている場合、general-control で PPP 切断のアクションを設定しても、PPP 切断後、再接続してしまう。	1.6.0～ 2.4.0	CR CR CR
54	モバイル機能設定時にモバイル機能が動作有効の状態で設定を変更した場合、接続できなくなる場合がある。 ➔ **ワークアラウンド** モバイル機能の動作を無効にして、設定変更を実施し、その後動作を有効にしてください。	1.6.0～ 2.4.0	CR CR CR

No.	内容	影響範囲	対象機器
53	起動直後にファームアップを実行すると、ファームアップに失敗する場合がある。 ➔ **ワークアラウンド** 時間を空けて、再度ファームアップを実行してください。	2.3.0～ 2.4.0	CR CR CR
52	モバイルインターフェイス機能において、3G 回線でバンド 19 を利用すると、モバイル回線の通信ステータス表示やログ上ではバンド 12 として表示される。 ※ハードウェア制御部側に関連した制限事項になります。	1.0B05～ 1.0B07, 2.0B03	CR CR CR

51	無線 LAN 機能において、5GHz 帯で W53 モードまたは W56 モードを利用する際、DFS レーダーを受け移動可能なチャンネルがない場合、電波出力せず動作しなくなる。
	➔ **ワークアラウンド**
	帯域幅を 20MHz に設定すると移動可能なチャンネルが確保しやすく本現象の発生頻度を下げることが可能です。
	`amnimo(cfg)# wifi access-point amnimo-5G`
	`amnimo(cfg-wifi-ap-amnimo-5G)# show config`
	`enable`
	`band 5GHz`
	`ssid amnimo-5G-xxxxxxx`
	`channel mode w53` ←チャンネルモードを W53 に固定した場合
	`channel width 20MHz` ←帯域幅を 20MHz とする。
		1.10.0～
		2.3.0
			CR CR

49	無線 LAN 機能において、2.4GHz と 5GHz を同時利用する※場合、稀に接続できなくなる。
	➔ **ワークアラウンド**
	スケジュール機能の特定の無線 LAN デバイスに対してキープアライブを実施し、切断検出時に無線チップをリセットする設定を実施する。
	`amnimo(cfg)# schedule keep-alive wifireset`
	`amnimo(cfg-sch-ka-wifireset)# show config`
	`no enable`
	`datetime * * * * *` ←毎分確認
	`action wifi ap wlan0 reset enable` ←無線 LAN チップをリセット
	`ping dest 192.168.0.32` ←接続確認先の無線 LAN デバイス
	`no ping source`
	`ping interval 3`
	`ping count 3`
	`no ping deadline`
	`ping timeout 10`
	`ping delay 0`
	`ping wait 3`
	`failsafe reboot 3`
		1.10.0～
		2.3.0
			CR CR

48	GUI 機能で詳細設定から PPP の設定を削除しても PPP のサービスが停止しない。	1.10.0～ 2.4.0	CR CR

No.	内容	影響範囲	対象機器
47	CLI 機能で管理者モードまたは設定モードで show config を実行した際に wifi wps※と user group の設定が表示されない。 ※wifi wps は AC15,AC25 のみ	1.6.0～ 2.3.0	CR CR CR
45	無線 LAN のアクセスポイントを無効にした場合、関連するインターフェイスの接続ステータスが正常に表示されない場合がある。	1.10.0, 1.12.0, 1.13.0	CR CR
44	インターフェイス機能の DHCP クライアントの NTP 取得機能を無効にした場合、NTP サーバーリスト表示に NTP サーバーのリストが残ってしまう。	1.6.0～ 1.13.0	CR CR CR
43	PPP パラメータ変更時に“Failed to restore settings.”が発生する場合がある。	1.10.0, 1.12.0, 1.13.0	CR CR
42	DNS サーバーが稀に起動しない場合がある。	1.6.0～ 1.13.0	CR CR CR
41	デバイス管理システムのエージェントプログラムのフェイルセーフの数値がスケジュール機能のフェイルセーフの数値と重複している。	1.6.0～ 1.13.0	CR CR CR
40	デバイス管理システムにおいて、デバイスを有効化中、デバイス・クラウド間の通信エラーが原因で有効化処理が完了しないことがある。	1.6.0～ 1.13.0	CR CR CR
39	同一ネットワークアドレスの IP アドレスが筐体内で設定されている場合に、片方の IP アドレスを無効化しても通信ができない。	1.10.0, 1.12.0, 1.13.0	CR CR
38	CLI 機能の NAT 設定やフィルター設定において、pkt-type を省略して設定できない。	1.6.0～ 1.13.0	CR CR CR
37	CLI 機能に関して、管理者モードとユーザーモードのコマンド履歴が共通になっている。	1.6.0～ 1.9.3, 1.11.0, 1.13.0	CR
36	CLI 機能に関して、インターフェイス機能の DHCP、PPP 及びモバイルのルート設定時にエラーになるような値を設定しても、実際の設定として有効としている場合がある。	1.6.0～ 1.12.0	CR CR CR
35	デバイス管理システムにおいて、クラウド側のデバイス詳細情報表示のインターフェイスとデバイス側のインターフェイスのステータスが同期していない場合がある。	1.10.0	CR
34	無線 LAN のステーションのアクセスポイント切り替えで、エラーが発生する場合がある。	1.10.0	CR
33	WPS の実行ボタンを押下後、接続が完了していても稀にタイムアウトエラーになってしまう場合がある。	1.10.0	CR

No.	内容	影響範囲	対象機器
32	複数のインターフェイスで DHCP クライアントの設定がある場合、一部の DHCP クライアントの IP が削除されてしまう場合がある。	1.6.0～ 1.11.0	CR CR
31	DHCP サーバーが設定されている無線 LAN インターフェイスで、関連する無線 LAN 設定を無効化が可能になっている。	1.10.0	CR

30	複数のインターフェイスにおいて DHCP リレーを同時に利用した場合に、一方のクライアントに IP が払い出されない。
	例. 以下の設定では network-A 側は IP が払い出されているが network-B 側は IP が払い出されない。
	`amnimo# show config dhcp-relay`
	`# ---- transition to configure mode ----`
	`configure`
	`# ---- dhcp-relay network-A configure ----`
	`dhcp-relay network-A`
	`enable`
	`listen wlan0`
	`server 192.168.4.1`
	`exit`
	`# ---- dhcp-relay network-B configure ----`
	`dhcp-relay network-B`
	`enable`
	`listen br0`
	`server 192.168.4.1`
	`exit`
	`# ---- exit configure mode ----`
	`exit`
		1.10.0	CR

28	スケジュール機能における PPP 切断のアクション設定(disconnect ppp)が正常に動作しない。	1.10.0	CR
27	スケジュール機能における起動経過時間によるソフトウェアリブートまたはハードウェアリブートのアクション設定において、フェイルセーフを有効にしている場合、リブートしない。 ➔ **ワークアラウンド** フェイルセーフを無効にしてください。(本スケジュール機能ではフェイルセーフ機能は効果がありません。将来削除予定です。)	1.11.0	CR
26	インターフェイス設定において、DHCP クライアント設定が有効で、固定 IP アドレスが設定されている場合、DHCP クライアント設定を無効にすると、固定 IP アドレスの設定が反映されない。	1.10.0	CR
25	CLI 機能に関して、WPS 機能の PIN コード生成のコマンドの文字列が「pin genarate」となっている。(本来であれば「pin generate」)	1.10.0	CR

No.	内容	影響範囲	対象機器

24	インターフェイスが無効な状態で、DHCP クライアント設定を有効にすると、設定できずエラーになる場合がある。
	`amnimo(cfg)# interface lan0`
	`amnimo(cfg-interface-lan0)# no enable`
	`amnimo(cfg-interface-lan0)# no dhcp4`
	`amnimo(cfg-interface-lan0)# dhcp4`
	`amnimo(cfg-interface-lan0)# enable`
	`error: interface control failed:`
	`Service start failure.`
	`EL:3100`
	➔ **ワークアラウンド**
	インターフェイスを有効にしてから、DHCP クライアント設定を有効にしてください。
	`amnimo(cfg-interface-lan0)# enable`
	`amnimo(cfg-interface-lan0)# dhcp4`
		1.10.0	CR

23	デバイス管理システムにおいて、クラウド側からのデバイスの有効化に最大 2 時間かかる場合がある。 ➔ **ワークアラウンド** デバイスの有効化時にはインターネット接続が確認できた後にデバイスの再起動をお願いします。	1.5.0～ 1.9.0	CR
22	GUI 機能に関して、モバイルモジュール情報を更新ボタンで更新する際、SIM1 側の情報が更新されない。	1.6.0～ 1.9.0	CR
21	電源起動直後、稀にイーサネットポートについて、LAN ケーブル接続状態でもリンクダウン状態のままになる。 ➔ **ワークアラウンド** keep-alive 機能など、イーサネットポート経由で外部へ通信する処理が発生する場合は、リンクアップします。	1.6.0～ 1.9.0	CR
20	プロキシ機能の FQDN ブラックリスト制御の FQDN 設定を行うと、意図せず URL ホワイトリスト制御が有効になる。 ➔ **ワークアラウンド** FQDN ブラックリスト制御の FQDN 設定を行った場合は、URL ホワイトリスト制御の有効無効設定を確認し、無効に再設定を行ってください。	1.8.0～ 1.8.1	CR
19	モバイル通信設定(peer)およびセッション設定(session)を行った後、モバイル通信機能を停止する場合に、モバイル通信設定のセッション設定の削除を行うと、機器情報画面でエラーが発生する。 ➔ **ワークアラウンド** モバイル通信を使用しない場合はセッション設定ではなく、モバイル回線を削除してください。	1.6.0～ 1.8.1	CR
17	空きメモリ少ない場合、GUI で syslog のダウンロードに失敗する場合がある。 ➔ **ワークアラウンド** 暫定対策として、バージョン 1.8.0 では、残メモリの容量に合わせた分のみ、ダウンロード可能になりました。 CR 屋内タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーター AC15 の初回リリース V1.10.0 では修正されています。	1.6.0～ 1.9.3, 1.11.0	CR

No.	内容	影響範囲	対象機器
16	複数のフィルター設定を同時に削除すると通信エラーが発生する場合がある。 ➔ **ワークアラウンド** フィルター設定を一つずつ削除してください。	1.6.0～ 1.8.0	CR
15	設定ファイルのダウンロードに失敗する場合がある。 ➔ **ワークアラウンド** 設定ファイルダウンロード中に機器本体の電源を落とすと発生する可能性があります。	1.6.0～ 1.8.0	CR
12	DHCP サーバー起動時に定期的に「Can't create new lease file: Permission denied」が出力される。	1.6.0～ 1.7.0	CR
11	GUI 機能のインターフェイス設定で「起動時確認無効」のチェックボックスが存在する。	1.6.0～ 1.7.0	CR
9	CLI 機能のインターフェイス設定で IP アドレス削除後、GUI 機能のインターフェイス設定画面で当該インターフェイスの設定の編集を行うと、設定が正しく表示されず、編集が行えない。 ➔ **ワークアラウンド** 発生した場合は、再度 CLI 機能のインターフェイス設定機能で IP アドレス追加後、GUI 機能のインターフェイス設定を編集してください。	1.6.0～ 1.7.0	CR
8	CLI 機能でインターフェイス設定において”no dhcp ntp”を設定しても、DHCP サーバーから配布された NTP サーバーの有効状態が維持される。	1.6.0～ 1.6.1	CR
7	GUI 機能でハードウェア制御部のファームウェアを更新するとエラーが発生する。	1.6.0～ 1.6.1	CR
6	ストレージ設定の新規追加で実際のストレージのファイルシステムと異なるファイルシステムを選ぶとエラーダイアログが表示される。	1.6.0～ 1.6.1	CR
5	デバイス管理システムの履歴上で AC10 の 起動時刻が誤って表示される。	1.6.0～ 1.6.1	CR
4	温度制御機能動作時に出力される syslog メッセージが約 40°C以上で出力される。 ログが出力された場合においても、本製品採用の NAND フラッシュの寿命は 10 年以上保持できます。	1.6.0	CR
3	コンパクトルーターにおいて、スケジューリング機能においてキープアライブ成功時にフェイルセーフのリトライカウンタをリセットしない。	1.6.0～ 1.6.1	CR
1	タイムゾーンを変更しても、スケジュール機能の時刻設定に変更が反映されない。（スケジュール機能のタイムゾーンは UTC 固定）	1.6.0～ 1.6.1	CR

2.1.3　修正しない制限事項

No.	内容	影響範囲	対象機器
74	無線 LAN アクセスポイント機能において、「no channel short-guard-interval」を設定しても無効にできない。 ➔ V3.1.1 以降では「no channel short-guard-interval」を実行できないように変更しました。設定ファイル上に「no channel short-guard-interval」が記述されていても実行されません。	1.10.0～	CR CR
2	アカウント設定時に、ユーザー名の先頭文字が数値の場合、エラーになる。 ➔ 先頭文字が数値のユーザー名は慣例上非推奨となっていることから、本制限事項を仕様とします。	1.6.0～	CR

改訂履歴

版数	発行日	改訂内容	対象機器
1 版	2022 年 7 月 15 日	ファームウェア V1.6.0 リリースのため。	CR
2 版	2022 年 8 月 10 日	ファームウェア V1.6.1 リリースのため。	CR
3 版	2022 年 9 月 30 日	ファームウェア V1.7.0 リリースのため。	CR
4 版	2022 年 12 月 2 日	ファームウェア V1.8.0 リリースのため。	CR
5 版	2022 年 12 月 19 日	ファームウェア V1.8.1 リリースのため。	CR
6 版	2023 年 1 月 24 日	既知問題として No.19 を追加。	CR
7 版	2023 年 3 月 6 日	ファームウェア V1.9.0 リリースのため。	CR
8 版	2023 年 5 月 25 日	ファームウェア V1.9.3 リリースのため。	CR
9 版	2023 年 6 月 14 日	ファームウェア V1.10.0 リリースのため。	CR
10 版	2023 年 6 月 30 日	ファームウェア V1.11.0 リリースのため。	CR
11 版	2023 年 9 月 4 日	ファームウェア V1.12.0 リリースのため。	CR
12 版	2023 年 9 月 29 日	ファームウェア V1.13.0 リリースのため。	CR
13 版	2023 年 11 月 17 日	V1.13.0 に関するリリース内容を訂正。	CR
14 版	2023 年 11 月 28 日	No.29 の問題を削除。本不具合は発生しないことが判明したため。	CR
15 版	2024 年 1 月 25 日	016JP タイプのリリースおよびファームウェア V2.3.0 リリースのため。	CR
16 版	2024 年 1 月 29 日	ファームウェア V2.4.0 リリースのため。	CR
17 版	2024 年 2 月 16 日	既知問題として No.57,58 を追加。	CR
18 版	2024 年 5 月 15 日	ファームウェア V2.5.0 リリースのため。	CR
19 版	2024 年 5 月 29 日	既知問題として No.78 を追加。	CR
20 版	2024 年 6 月 19 日	ファームウェア V2.5.1 リリースのため。	CR
21 版	2024 年 7 月 12 日	ファームウェア V2.5.2 リリースのため。	CR
22 版	2024 年 7 月 24 日	ファームウェア V2.5.0、2.5.1、2.5.2 の AC10 のハードウェア制御部のファームウェアバージョンの訂正	CR
23 版	2024 年 10 月 8 日	ファームウェア V2.6.2 リリースのため。	CR
24 版	2024 年 11 月 25 日	ファームウェア V2.7.0 リリースのため。	CR
25 版	2025 年 5 月 12 日	ファームウェア V3.1.1 リリースのため。(AC10)	CR
26 版	2025 年 5 月 26 日	ファームウェア V3.1.1 リリースのため。(AC15/25)	CR
27 版	2025 年 6 月 18 日	既知問題として No.95 を追加。	CR
28 版	2025 年 7 月 23 日	既知問題として No.96 を追加。	CR
29 版	2025 年 10 月 2 日	ファームウェア V3.3.0 リリースのため。	CR
30 版	2025 年 10 月 10 日	既知問題として No.107,108,109,110 を追加。	CR
31 版	2026 年 1 月 15 日	ファームウェア V3.5.0 リリースのため。	CR

amnimo C シリーズ リリースノート
2026 年 1 月 15 日　第 31 版
IM AMD06A91-01JA

All Rights Reserved. Copyright © 2021-2025, amnimo Inc